

日交研シリーズ A-621

平成 25 年度研究プロジェクト

「複数データを用いた自動車交通事故の社会的損失推計のあり方の検討」

刊行：2015 年 1 月

複数データを用いた自動車交通事故の社会的損失推計のあり方の検討

Estimation of Social Loss Caused by Road Traffic Accidents Using Several
Accident Related Statistics

主査：鹿島 茂（中央大学教授）

Shigeru KASHIMA

要 旨

今後の交通事故対策では、死者数削減だけでなく、後遺障害者を含む人身事故全体あるいは経済的支払い額では人身事故による損失と同等の物損を含めた対策が必要である。このような検討のためには、事故件数の把握が不可欠である。本研究では、事故件数を統計データを基に推計するための基礎的な分析として、走行台キロを事故発生頻度の指標を作成する際に用いることの有効性に関する検討、昨年度作成した四輪車両間事故件数を予測する事故発生モデルの対二輪車・自転車事故および、対歩行者事故への拡張、そして、事故件数を予測するために利用できる可能性があるニアミスデータについて発生頻度に関する基礎的な検討を行った。

キーワード：交通事故発生要因、走行台キロあたり事故件数、ニアミス発生頻度

Keywords : Factor of Accident Occurring, Number of Accidents per Vehicle Kilometer, Frequency of Near-Accidents